



TITLE:

彙報

AUTHOR(S):

CITATION:

彙報. 經濟論叢 1939, 49(1): 261-264

ISSUE DATE:

1939-07-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/131259>

RIGHT:

經濟叢論 每月一日發行
昭和十四年七月一日發行
大正十四年六月二十一日第三號郵政特准掛號

京都帝國大學經濟學會 經濟叢論

第十四卷 第一號

昭和十四年七月

(禁轉載)

京都帝國大學經濟學部創立二十年記念論集

田島・戸田・神戸・小川・河上・河田・山本・作田の前八教授肖像

記念展覽會及講演會寫眞

國家の社會的構成

完全豫見の問題

時局下に於ける農業計畫生産

世界經濟の動向

小工業の特質と其の助成方針

ナチスの經營共同體の理論及び構造に就て

徳川時代の經濟統制

信用理論と其の經濟的基礎

企業聯繫としての再保險

マックス・ウェーバーの國民主義

ロバートソンの物價變動理論

中小工業と市場

沒價值性理論の成立

政策學としての日本經濟學

日本經濟學の根本原理

經濟學部二十年を回顧して

經濟學部創立二十年記念經濟學會大會記事

彙報

外國雜誌論題

法學博士	河田嗣郎
文學博士	高田保馬
經濟學博士	八木芳之助
經濟學博士	柴田敬
經濟學士	大塚一朗
經濟學士	中川與之助
經濟學士	堀江保藏
經濟學士	中谷實
經濟學士	佐波宣平
經濟學士	白杉庄一郎
經濟學士	青山秀夫
經濟學士	田杉競
經濟學士	出口勇藏
經濟學博士	谷口吉彦
經濟學博士	石川興二
經濟學博士	本庄榮治郎

彙報

經濟學會

經濟學部

○助教授柴田敬氏は昭和十四年五月二十九日付を以て教授に任ぜらる。

○左記の諸氏は昭和十四年五月三十一日付を以て京都帝國大學助手に任し經濟學部勤務を命ぜらる。

宮本又次

堀江英一

鈴木總一郎

○大學院入學(昭和十四年五月十八日)

我國工業經濟上ノ問題

辻 彌兵衛

○本學部歐文紀要 (Kyoto University Economic Review) 第十四卷第三號は次の論稿を以て七月二十日に刊行せらる。(丸善發賣 定價金壹圓)

The Development of the Commodity Link System in Japan

Professor K. Taniguchi

The Agricultural Interrelation of Japan, Manchoukuo and China

Professor Y. Yagi

Further Comments on Mr. Keynes' General Theory

Professor K. Shibata

Notes

彙

報

二六二

彙

報

二六三

同 好 會

○五月二十三日(火) 午前八時半奈良電京都驛發。奈良バスにて十時奈良刑務所着。少憩の後、教務課長の案内にて所内各所——圖書室、獨房、雜房、作業場、遊歩場、食堂、入浴室、醫療室等——を説明を聞きつゝ見學。一巡後、教誨堂にて教誨師より刑務行政の變遷及び司法保護事業に關して詳細なる講話あり、學生の質疑にも應答された。一同刑務所機構と今時局下更生しつゝある服務者の作業を親しく見聞して得る所頗る大であつた。午後零時半刑務所前にて解散、各自隨意に新綠薫る古都の景勝或は藝術を探りその三昧境を味つた。當日の參加者——佐波先生及び學生六十名

○五月二十七日(土) 經濟學部創立二十年記念晚餐會を開く
別項記事參照